

第7期北方領土隣接地域振興計画 実施計画

市 町 名	標津町
重点施策名	5 災害に強い地域づくりに向けた基盤整備

1 目指す目標(長期目標)
<p>根室半島沖を含む千島海溝周辺は地震活動が極めて活発であり、これまでに幾度となく大規模な地震により被害を及ぼしている。また、平成23年度に発生した東日本大震災では当町に大きな被害は無かったものの、これを契機として平成24年度を「防災・減災対策強化元年」として位置づけ、対策強化に努めることとしたところである。また、平成25年に道東を中心に発生した暴風雪災害をきっかけに、暴風雪への備えが喫緊の課題となっている。</p> <p>このことから、地震や津波に加え暴風雪などの気象災害に備えて、避難場所や方法、防災への心構えなどの広報活動、避難施設や避難路、備蓄品の整備・確保等を推進することにより、地域住民の防災意識向上及び地域防災力の向上を図る。</p>

2 目標達成に必要な対象群の変化内容		
番号	変化や働きかけを行う対象群	必要な変化(維持する内容)
1	地域住民	防災に関する啓蒙活動や、総合防災訓練の実施などによる地域住民の防災意識の向上
2	緊急避難場所等に指定されている民間施設	薫別地区及び崎無異地区における緊急避難所等の安定的な確保
3	避難路となる道道薫別川北線	地域住民の安全な避難経路の確保
4		
5		

3 2の変化(維持)を実現するためのプロセス(工程表)				
番号	実施する内容	実施主体	実施期間	実施による到達レベル
1	地震、津波などの災害に備え、非常持ち出し、家具転倒防止、避難場所などの広報。暴風雪時の心構えや注意点などの広報。総合防災訓練の実施。	町	H25～	定期的な広報の継続(H25～)、防災訓練への住民参加率又は参加者数の向上(H22)
2	薫別地区及び崎無異地区における緊急避難場所となっている民宿への継続した協力要請、協定の締結	町	H25～	当該地区における緊急避難場所等の安定的な確保
3	道道薫別川北線の内、乳薫橋を含む未改修箇所等の早期整備。その他必要な避難経路の確保に係る検討。	道	H26～	当該路線の未改修箇所の整備と通年通行の実現
4				
5				

第7期北方領土隣接地域振興計画 実施計画

市 町 名	標津町
重 点 施 策 名	5 災害に強い地域づくりに向けた基盤整備

1 目標達成に向けた内的外的な課題及び現状認識		
内部環境 (市町及び地域の関係者の経営資源)	強み	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災を契機に、避難所の整備、ハザードマップの整備、防災無線のデジタル化など防災体制の強化が図られている
	弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・津波被害が想定される海岸沿いに集落が点在している ・避難勧告に従わない住民が少なくなく、更なる防災意識の高揚が必要と思われる ・移動手段の大部分を自家用車に依存しており、暴風雪による視程障害や吹溜りにより社会機能の停止が発生する
外部環境 (市町を取り巻く環境)	機会	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災を契機に国主導で防災体制の見直し、強化が図られている ・公共建築物の耐震化などを目的とする国土強靱化法の施行 ・H25年の暴風雪災害以降、各機関にて暴風雪への対策・取り組みがなされている
	脅威	<ul style="list-style-type: none"> ・当町が「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災対策推進地域」内に位置していること ・未整備区間を有する避難路の存在 ・低気圧が発達しやすい千島近海に近い地理条件にある

2 参考とする指標	
■ 町広報紙による「防災・減災対策」周知	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度4回、平成24～28年度各12回(毎月実施)
■ 防災情報伝達の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線のデジタル化(一般家庭、事業所合わせ2,317ヶ所設置)(H24年度実施)
■ 防災訓練等実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町総合防災訓練 ・H22: 897名、H25: 613名 ○ 地区別避難訓練 ・薫別～ H23: 43名 ・栄町～ H25: 20名、H26: 27名、H27: 45名 ・本町～ H25: 43名 ○ 防災講演会 ・H26: 203名、H27: 125名
■ 根室振興局管内暴風雪防災訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・暴風雪を想定し、町や振興局等の関係機関の間で相互の情報伝達・共有、迅速な対応の訓練 ・H28: 8名
■ 緊急避難場所等の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町内避難施設 30ヶ所(うち民間施設1カ所(民宿)) ・H24避難施設1カ所購入済(民間建物) ※薫別及び崎無異地区に適当な公共施設が無いため、民宿と協定を結び、協力いただいている ・H23～H27で備品や駐車場の整備、小規模改修等を実施 ・H27に駐車場の整備完了(区画線設置) ○ 緊急避難場所 8カ所
■ 避難路の検討	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害種別による避難路を検討中

3 民間が実施主体の場合に市町が行う取組促進の内容